



# show running-config ~ show running-config isakmp コマンド

## show running-config

FWSM の実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] [command]
```

### シンタックスの説明

<i>all</i>	デフォルトを含む実行コンフィギュレーション全体を表示します。
<i>command</i>	特定のコマンドに関連付けられたコンフィギュレーションを表示します。

### デフォルト

引数またはキーワードを指定しない場合は、デフォルト以外の FWSM コンフィギュレーション全体が表示されます。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドのサポートが追加されました。

### 使用上のガイドライン

**show running-config** コマンドは、FWSM の現在の実行コンフィギュレーションを表示します。

**running-config** キーワードを使用できるのは、**show running-config** コマンド内のみです。このキーワードを **no** または **clear** と併用したり、単独のコマンドとして使用したりすることはできません。CLI (コマンドライン インターフェイス) では、サポート対象外のコマンドとして処理されるためです。**?**、**no ?**、または **clear ?** キーワードを入力しても、コマンドリストに **running-config** キーワードは表示されません。



(注)

デバイス マネージャを使用して FWSM への接続または設定を行うと、コンフィギュレーションにデバイス マネージャ コマンドが追加されます。

例

次に、FWSM の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config
: Saved
:
FWSM Version 3.1(0)
names
!
interface Ethernet0
 nameif test
 security-level 10
 ip address 10.10.88.50 255.255.255.254
!
interface Ethernet1
 nameif inside
 security-level 100
 ip address 10.86.194.176 255.255.254.0
!
interface Ethernet2
 shutdown
 no nameif
 security-level 0
 no ip address
!
interface Ethernet3
 shutdown
 no nameif
 security-level 0
 no ip address
!
interface Ethernet4
 shutdown
 no nameif
 security-level 0
 no ip address
!
interface Ethernet5
 shutdown
 no nameif
 security-level 0
 no ip address
!
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
passwd 2KFQnbNIdI.2KYOU encrypted
hostname FWSM
domain-name example.com
boot system flash:/cdisk.bin
ftp mode passive
pager lines 24
mtu test 1500
mtu inside 1500
monitor-interface test
monitor-interface inside
ASDM image flash:ASDM
no ASDM history enable
arp timeout 14400
route inside 0.0.0.0 0.0.0.0 10.86.194.1 1
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 2:00:00 half-closed 1:00:00 udp 0:02:00 icmp 1:00:00 rpc 1:00:00 h3
23 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp 0:05:00 mgcp-pat 0:05:00 sip 0:30:00 sip_media 0:02
:00
```

```

timeout uauth 0:00:00 absolute
http server enable
http 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
no snmp-server location
no snmp-server contact
snmp-server enable traps snmp
fragment size 200 test
fragment chain 24 test
fragment timeout 5 test
fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
telnet 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
telnet timeout 1440
ssh timeout 5
console timeout 0
group-policy todd internal
!
class-map inspection_default
  match default-inspection-traffic
!
!
policy-map fwsn_global_fw_policy
class inspection_default
  inspect dns
  inspect ftp
  inspect h323 h225
  inspect h323 ras
  inspect http
  inspect ils
  inspect mgcp
  inspect netbios
  inspect rpc
  inspect rsh
  inspect rtsp
  inspect sip
  inspect skinny
  inspect sqlnet
  inspect tftp
  inspect xdmcp
  inspect ctiqbe
  inspect cuseeme
  inspect icmp
!
terminal width 80
service-policy fwsn_global_fw_policy global
Cryptochecksum:bfecf4b9d1b98b7e8d97434851f57e14
: end

```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>configure</b>	端末から FWSM を設定します。

---

# show running-config aaa

実行コンフィギュレーション内の AAA（認証、認可、アカウントिंग）設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa** コマンドを使用します。

```
show running-config aaa [accounting | authentication | authorization | mac-exempt | proxy-limit]
```

## シンタックスの説明

<b>accounting</b>	(任意) アカウンティング関連の AAA 設定を表示します。
<b>authentication</b>	(任意) 認証関連の AAA 設定を表示します。
<b>authorization</b>	(任意) 許可関連の AAA 設定を表示します。
<b>mac-exempt</b>	(任意) MAC（メディア アクセス制御）アドレス免除の AAA 設定を表示します。
<b>proxy-limit</b>	(任意) ユーザ単位で許可されている同時プロキシ接続数を表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show aaa</b> コマンドが追加されました。
2.2(1)	LOCAL 方式をサポートするように、 <b>show aaa</b> コマンドが変更されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show aaa</b> から変更されました。

## 例

次に、**show running-config aaa** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config aaa
aaa authentication match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure
radiusvrs
aaa accounting match infrastructure_authentication_radiusvrs infrastructure radiusvrs
aaa authentication secure-http-client
aaa local authentication attempts max-fail 16
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>aaa authentication match</b>	アクセス リストで識別されたトラフィックの認証をイネーブルにします。
<b>aaa authorization match</b>	アクセス リストで識別されたトラフィックの許可をイネーブルにします。
<b>aaa accounting match</b>	アクセス リストで識別されたトラフィックのアカウントिंगをイネーブルにします。
<b>aaa mac-exempt</b>	認証および許可から免除する MAC アドレスの定義済みリストを使用するように指定します。
<b>aaa proxy-limit</b>	ユーザ単位で許可される同時プロキシ接続の最大数を設定して、uauth セッションの制限を設定します。

# show running-config aaa-server

AAA サーバ設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] aaa-server [server-tag] [(interface-name)]
```

## シンタックスの説明

<i>all</i>	(任意) デフォルト値を表示します。このキーワードを指定しない場合、デフォルト値はコマンド出力から省略されます。
<i>(interface-name)</i>	(任意) AAA サーバが存在するネットワーク インターフェイス。
<i>server-tag</i>	(任意) サーバ グループのシンボリック名

## デフォルト

*all* キーワードを省略すると、明示的に設定された設定値のみが表示され、デフォルト値は表示されません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show aaa-server</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show aaa-server</b> から変更されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、特定のサーバ グループの設定を表示する場合に使用します。明示的に設定された値だけでなくデフォルト値も表示する場合は、**all** キーワードを使用します。

## 例

デフォルト AAA サーバグループの実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config default aaa-server

aaa-server group1 protocol tacacs+ accounting-mode simultaneous
reactivation-mode depletion deadtime 10
max-failed-attempts 4
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show aaa-server</b>	AAA サーバの統計情報を表示します。
<b>show running-config aaa-server host</b>	特定の AAA サーバの AAA サーバ設定を表示します。
<b>clear configure aaa-server</b>	AAA サーバの設定を消去します。

## show running-config aaa-server host

特定の AAA サーバの AAA サーバ統計情報を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config aaa-server host** コマンドを使用します。

**show running-config [all] aaa-server server-tag [(interface-name)] host aaa-server-name**

シンタックスの説明	パラメータ	説明
<b>all</b>	(任意)	デフォルト設定値を含む実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>host aaa-server-name</b>	AAA サーバをホスト名または IP アドレスで指定します。	
<b>(interface-name)</b>	(任意)	AAA サーバが存在するネットワーク インターフェイス
<b>server-tag</b>	サーバ グループのシンボリック名	

**デフォルト** **all** キーワードを省略すると、明示的に設定された設定値のみが表示され、デフォルト値は表示されません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	—	—	•
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更
	3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、特定のサーバ グループの統計情報を表示する場合に使用します。明示的に設定された値だけでなくデフォルト値も表示する場合は、**all** キーワードを使用します。

**例** サーバ グループ svrgrp1 の実行コンフィギュレーションを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
hostname(config)# show running-config all aaa-server svrgrp1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show running-config aaa-server</b>	AAA サーバの設定を表示します。
	<b>clear configure aaa</b>	すべてのグループのすべての AAA サーバの設定を削除します。

# show running-config access-group

アクセス グループ情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config access-group** コマンドを使用します。

**show running-config access-group**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンド モード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show access-group</b> から変更されました。

**例**

次に、**show running-config access-group** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-group
access-group 100 in interface outside
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>access-group</b>	インターフェイスにアクセス リストをバインドします。
<b>clear configure access-group</b>	すべてのインターフェイスからアクセス グループを削除します。

## show running-config access-list

FWSM で動作中のアクセスリストの設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config access-list** コマンドを使用します。

```
show running-config [default] access-list [alert-interval | deny-flow-max]
```

```
show running-config [default] access-list id [saddr_ip]
```

### シンタックスの説明

<b>alert-interval</b>	Syslog メッセージ 106001 を生成するアラート間隔を表示します。このメッセージは、システムが拒否フローの上限に達したことを警告します。
<b>deny-flow-max</b>	作成できる同時拒否フローの最大数を表示します。
<b>id</b>	表示するアクセス リストを識別します。
<b>saddr_ip</b>	指定された送信元 IP アドレスを含むアクセス リストの要素を表示します。

### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

**show running-config access-list** コマンドを使用すると、FWSM で現在動作中のアクセス リストの設定を表示できます。

### 例

次に、**show running-config access-list** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config access-list
access-list allow-all extended permit ip any any
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>access-list ethertype</b>	EtherType に基づいてトラフィックを制御するアクセス リストを設定します。
<b>access-list extended</b>	設定にアクセス リストを追加し、ファイアウォールを通過する IP トラフィックのポリシーを設定します。
<b>access-list ethertype</b>	EtherType に基づいてトラフィックを制御するアクセス リストを設定します。
<b>clear access-list</b>	アクセス リスト カウンタをクリアします。
<b>clear configure access-list</b>	実行コンフィギュレーションからアクセス リストを消去します。



# show running-config alias

エイリアス設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config alias** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] alias [interface_name]
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
<b>interface_name</b>	(任意) 指定されたインターフェイスに対する <b>alias</b> コマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	—	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show alias</b> から変更されました。

## 例

次に、エイリアス情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config alias
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>alias</b>	エイリアスを作成します。
<b>clear configure alias</b>	エイリアスを削除します。

## show running-config arp

実行コンフィギュレーション内の **arp** コマンドで作成されたスタティック ARP エントリを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp** コマンドを使用します。

**show running-config [all] arp**

### シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

**リリース**                      **変更**  
3.1(1)                              このコマンドが追加されました。

### 例

次に、**show running-config arp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp
arp inside 10.86.195.11 0008.023b.9893
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>arp</b>	スタティック ARP エントリを追加します。
<b>arp-inspection</b>	トランスペアレント ファイアウォール モードの場合に、ARP スプーフィングを防止するために ARP パケットを検査します。
<b>show arp</b>	ARP テーブルを表示します。
<b>show arp statistics</b>	ARP 統計情報を表示します。

# show running-config arp timeout

実行コンフィギュレーション内の ARP タイムアウト設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp timeout** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] arp timeout
```

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

**リリース**                      **変更**

1.1(1)                              このコマンドが追加されました。

3.1(1)                              このコマンドは **show arp timeout** から変更されました。

## 例

次に、**show running-config arp timeout** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp timeout
arp timeout 20000 seconds
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>arp</b>	スタティック ARP エントリを追加します。
<b>arp timeout</b>	FWSM が ARP テーブルを再構築するまでの時間を設定します。
<b>arp-inspection</b>	トランスペアレント ファイアウォール モードの場合に、ARP スプーフィングを防止するために ARP パケットを検査します。
<b>show arp statistics</b>	ARP 統計情報を表示します。

# show running-config arp-inspection

実行コンフィギュレーション内の ARP 検査の設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config arp-inspection** コマンドを使用します。

**show running-config [all] arp-inspection**

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

## コマンド履歴

**リリース** **変更**  
3.1(1) このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config arp-inspection** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config arp-inspection
arp-inspection inside1 enable no-flood
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>arp</b>	スタティック ARP エントリを追加します。
<b>arp-inspection</b>	トランスペアレント ファイアウォール モードの場合に、ARP スプーフィングを防止するために ARP パケットを検査します。
<b>clear configure arp-inspection</b>	ARP 検査の設定を消去します。
<b>firewall transparent</b>	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
<b>show arp statistics</b>	ARP 統計情報を表示します。

# show running-config asdm

実行コンフィギュレーション内の **asdm** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config asdm** コマンドを使用します。

```
show running-config asdm [group | location]
```

## シンタックスの説明

<b>group</b>	(任意) 実行コンフィギュレーション内の <b>asdm group</b> コマンドのみを表示します。
<b>location</b>	(任意) 実行コンフィギュレーション内の <b>asdm location</b> コマンドのみを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが ( <b>show running-config pdm</b> として) 追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config pdm</b> コマンドから <b>show running-config asdm</b> コマンドに変更されました。

## 使用上のガイドライン

コンフィギュレーションから **asdm** コマンドを削除するには、**clear configure asdm** コマンドを使用します。



(注)

マルチ コンテキスト モードで稼働している FWSM では、**show running-config asdm group** および **show running-config asdm location** コマンドを使用できるのは、システム実行スペース内のみです。

## 例

次に、**show running-configuration asdm** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config asdm
asdm history enable
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure asdm</b>	実行コンフィギュレーションから <b>asdm</b> コマンドをすべて削除します。

# show running-config auth-prompt

現在の認証プロンプト チャレンジテキストを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config auth-prompt** コマンドを使用します。

**show running-config [default] auth-prompt**

## シンタックスの説明

**default** (任意) デフォルトの認証プロンプト チャレンジテキストを表示します。

## デフォルト

設定された認証プロンプト チャレンジテキストを表示します。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	—	—	•

## コマンド履歴

**リリース**                      **変更**

- |        |  |
|--------|--|
| 1.1(1) | <b>show auth-prompt</b> コマンドが追加されました。      |
| 3.1(1) | このコマンドは <b>show auth-prompt</b> から変更されました。 |

## 使用上のガイドライン

認証プロンプトを設定したあとに、現在のプロンプトテキストを表示するには、**show running-config auth-prompt** コマンドを使用します。

## 例

次に、**show running-config auth-prompt** コマンドを使用して、認証プロンプトの設定を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config auth-prompt
auth-prompt prompt Please sign in.
auth-prompt accept Welcome. Unauthorized access strictly prohibited.
auth-prompt reject Credentials invalid.
hostname(config)#
```

## 関連コマンド

<b>auth-prompt</b>	ユーザ認証プロンプトを設定します。
<b>clear configure auth-prompt</b>	ユーザ認証プロンプトをデフォルト値にリセットします。

# show running-config auto-update

実行コンフィギュレーション内の **auto-update** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config auto-update** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] auto-update
```

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-configuration auto-update** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config auto-update
auto-update poll-period 1 1
auto-update server http://10.1.1.1:1741/
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>auto-update device-id</b>	Auto Update Server で使用する FWSM デバイス ID を設定します。
<b>auto-update poll-period</b>	FWSM が Auto Update Server からの更新をチェックする頻度を設定します。
<b>auto-update server</b>	Auto Update Server を識別します。
<b>auto-update timeout</b>	Auto Update Server がタイムアウト期間中にアクセスされていない場合、FWSM を通過するトラフィックを停止します。
<b>clear configure auto-update</b>	Auto Update Server の設定を消去します。

# show running-config banner

指定されたバナーおよびバナー用に設定されたすべての行を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config banner** コマンドを使用します。

```
show running-config banner [exec | login | motd]
```

## シンタックスの説明

<b>exec</b>	(任意) 特権プロンプトの前に表示されるバナーを表示します。
<b>login</b>	(任意) Telnet を使用して FWSM にアクセスしたときに、パスワードログインプロンプトの前に表示されるバナーを表示します。
<b>motd</b>	(任意) MoTD (Message-of-The-Day) バナーを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show banner</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config banner</b> に変更されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config banner** コマンドは、指定されたバナー キーワードおよびバナー用に設定されたすべての行を表示します。キーワードを指定しない場合は、すべてのバナーが表示されます。

## 例

次に、MoTD バナーを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config banner motd
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>banner</b>	バナーを作成します。
<b>clear configure banner</b>	バナーを削除します。



## show running-config class

リソース クラス設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] class [class_name]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
<i>all</i>	(任意)	デフォルトを含む、稼働中のすべてのリソース クラス設定を表示します。
<i>class_name</i>	(任意)	クラス名のテキスト。テキストの最大長は 40 文字です。

**デフォルト** デフォルトでは、すべてのクラスが表示されます。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	該当なし	該当なし	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更
	2.2(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、**show running-config class** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class gold
limit-resource all 3%
limit-resource rate syslogs 500
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear configure class</b>	クラス設定を消去します。
	<b>context</b>	セキュリティ コンテキストを設定します。
	<b>limit-resource</b>	クラスのリソース制限を設定します。
	<b>member</b>	リソース クラスにコンテキストを割り当てます。
	<b>show class</b>	クラスに割り当てられたコンテキストを表示します。

# show running-config class-map

クラス マップの設定に関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config class-map** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] class-map [class_map_name]
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>all</b>	(任意) デフォルトを含む、稼働中のすべてのクラス マップ設定を表示します。
	<b>class_map_name</b>	(任意) クラス マップ名のテキスト。テキストの最大長は 40 文字です。

**デフォルト** match any コマンドを 1 つ含む **class-map class-default** コマンドが、デフォルト クラス マップです。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更</b>
	3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、**show running-config class-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config class-map
class-map tcp-port
  match port tcp eq ftp
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>class-map</b>	インターフェイスにトラフィック クラスを適用します。
	<b>clear configure class-map</b>	トラフィック マップの定義をすべて削除します。

# show running-config command-alias

設定されたコマンドエイリアスを表示するには、特権 EXEC モードで *show running-config command-alias* コマンドを使用します。

```
show running-config [all] command-alias
```

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

**リリース**                      **変更**  
3.1(1)                              このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

*all* キーワードを入力しない場合は、デフォルト以外のコマンドエイリアスのみが表示されます。

## 例

次に、FWSM に設定されたコマンドエイリアスを、デフォルトを含めてすべて表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all command-alias
command-alias exec h help
command-alias exec lo logout
command-alias exec p ping
command-alias exec s show
command-alias exec save copy running-config startup-config
```

次に、FWSM に設定されたコマンドエイリアスを、デフォルトを除いて、すべて表示する例を示します。

```
hostname# show running-config command-alias
command-alias exec save copy running-config startup-config
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>command-alias</b>	コマンドエイリアスを作成します。
<b>clear configure command-alias</b>	デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除します。

# show running-config console timeout

コンソール接続タイムアウト値を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config console timeout** コマンドを使用します。

**show running-config console timeout**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	<b>show console timeout</b> コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config console timeout</b> に変更されました。

**例** 次に、コンソール接続タイムアウト設定を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config console timeout
console timeout 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>console timeout</b>	FWSM とのコンソール接続のアイドル タイムアウトを設定します。
	<b>clear configure console</b>	コンソール接続設定をデフォルト値にリセットします。

# show running-config context

システム実行スペース内のコンテキスト設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config context** コマンドを使用します。

**show running-config [all] context**

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	不可	不可	—	—	•

## コマンド履歴

**リリース**                      **変更**  
3.1(1)                              このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config context** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config context

admin-context admin
context admin
  allocate-interface vlan100
  config-url disk:/admin.cfg
!

context A
  allocate-interface vlan200
  config-url disk:/A.cfg
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>admin-context</b>	admin コンテキストを設定します。
<b>allocate-interface</b>	コンテキストにインターフェイスを割り当てます。
<b>changeto</b>	コンテキストとシステム実行スペースを切り替えます。
<b>config-url</b>	コンテキスト設定の場所を指定します。
<b>context</b>	システム コンフィギュレーション内にセキュリティ コンテキストを作成し、コンテキスト コンフィギュレーション モードを開始します。

# show running-config crypto

IPSec、暗号マップ、ダイナミック クリプト マップ、ISAKMP を含む暗号設定全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto** コマンドを使用します。

## show running-config crypto

### シンタックスの説明

このコマンドに引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

### 例

次に、特権 EXEC モードでコマンドを入力し、暗号設定情報をすべて表示する例を示します。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。

# show running-config crypto isakmp

ISAKMP 設定全体を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config crypto isakmp** コマンドを使用します。

**show running-config crypto isakmp**

## シンタックスの説明

このコマンドにはデフォルト動作またはデフォルト値はありません。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show crypto isakmp</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config crypto isakmp</b> に変更されました。

## 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、ISAKMP 設定に関する情報を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config crypto isakmp
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。

# show running-config crypto ipsec

IPSec 設定全体を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto ipsec** コマンドを使用します。

```
show running-config crypto ipsec
```

## シンタックスの説明

このコマンドにはデフォルト動作またはデフォルト値はありません。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
特権 EXEC	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show crypto ipsec</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config crypto ipsec</b> に変更されました。

## 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、IPSec 設定に関する情報を表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config crypto ipsec
crypto ipsec transform-set ttt esp-3des esp-md5-hmac
hostname(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。



# show running-config crypto map

すべての暗号マップの設定を表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto map** コマンドを使用します。

**show running-config crypto map**

**シンタックスの説明** このコマンドに引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show crypto map</b> から変更されました。

**例** 次に、特権 EXEC モードでコマンドを入力し、すべての暗号マップの設定情報をすべて表示する例を示します。

```
hostname# show running-config crypto map
crypto map abc 1 match address xyz
crypto map abc 1 set peer 209.165.200.225
crypto map abc 1 set transform-set ttt
crypto map abc interface test
hostname#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。

# show running-config crypto dynamic-map

ダイナミック クリプト マップを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたは特権 EXEC モードで **show running-config crypto dynamic-map** コマンドを使用します。

**show running-config crypto dynamic-map**

**シンタックスの説明** このコマンドに引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンド モード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—
特権 EXEC	•	•	•	—	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show crypto dynamic-map</b> から変更されました。

**例** 次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、ダイナミック クリプト マップに関する設定情報をすべて表示する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config crypto dynamic-map

Crypto Map Template "dyn1" 10

    access-list 152 permit ip host 172.21.114.67 any
    Current peer: 0.0.0.0
    Security association lifetime: 4608000 kilobytes/120 seconds
    PFS (Y/N): N
    Transform sets={ tauth, t1, }
hostname(config)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。

# show running-config dhcpd

DHCP 設定を表示するには、特権 EXEC モードまたはグローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config dhcpd** コマンドを使用します。

**show running-config dhcpd**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンド モード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC またはグローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show running-config dhcpd** コマンドは、実行コンフィギュレーションに入力された DHCP コマンドを表示します。DHCP バインディング、ステート、および統計情報を表示するには、**show dhcpd** コマンドを使用します。

**例** 次に、**show running-config dhcpd** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dhcpd

dhcpd address 10.0.1.100-10.0.1.108 inside
dhcpd lease 3600
dhcpd ping_timeout 750
dhcpd dns 209.165.201.2 209.165.202.129
dhcpd enable inside
```

コマンド	説明
<b>clear configure dhcpd</b>	DHCP サーバ エージェント設定をすべて削除します。
<b>debug dhcpd</b>	DHCP サーバのデバッグ情報を表示します。
<b>show dhcpd</b>	DHCP のバインディング、統計情報、またはステート情報を表示します。

# show running-config dhcprelay

現在の DHCP リレー エージェント設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dhcprelay** コマンドを使用します。

**show running-config dhcprelay**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show running-config dhcprelay** コマンドは、現在の DHCP リレー エージェント設定を表示します。DHCP リレー エージェント パケットの統計情報を表示するには、**show dhcprelay statistics** コマンドを使用します。

**例** 次に、**show running-config dhcprelay** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config dhcprelay

dhcprelay server 10.1.1.1
dhcprelay enable inside
dhcprelay timeout 90
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>clear configure dhcprelay</b>	DHCP リレー エージェント設定をすべて削除します。
	<b>clear dhcprelay statistics</b>	DHCP リレー エージェント統計情報カウンタをクリアします。
	<b>debug dhcprelay</b>	DHCP リレー エージェントのデバッグ情報を表示します。
	<b>show dhcprelay statistics</b>	DHCP リレー エージェント統計情報を表示します。

# show running-config dns

実行コンフィギュレーション内の DNS 設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config dns** コマンドを使用します。

**show running-config dns**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

**コマンド履歴**

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、**show running-config dns** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config dns
dns domain-lookup inside
dns name-server
dns retries 2
dns timeout 15
dns name-server 10.1.1.1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>dns domain-lookup</b>	FWSM による名前検索をイネーブルにします。
	<b>dns name-server</b>	DNS サーバアドレスを設定します。
	<b>dns retries</b>	FWSM が応答を受信しない場合に、DNS サーバリストを再試行する回数を指定します。
	<b>dns timeout</b>	次の DNS サーバを試行するまでの待機時間を指定します。
	<b>show dns-hosts</b>	DNS キャッシュを表示します。

# show running-config domain-name

実行コンフィギュレーション内のドメイン名設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config domain-name** コマンドを使用します。

**show running-config domain-name**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	<b>show domain-name</b> コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config domain-name</b> に変更されました。

**例** 次に、**show running-config domain-name** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config domain-name
example.com
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>domain-name</b>	デフォルトのドメイン名を設定します。
	<b>hostname</b>	FWSM のホスト名を設定します。

# show running-config enable

暗号化されたイネーブル パスワードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config enable** コマンドを使用します。

**show running-config enable**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンド モード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更
	1.1(1)	<b>show enable</b> コマンドが追加されました。
	3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config enable</b> に変更されました。

**使用上のガイドライン** パスワードは暗号形式でコンフィギュレーションに保存されるため、入力後に元のパスワードを表示することはできません。表示されるパスワードには、パスワードが暗号化されていることを示す *encrypted* キーワードが付加されます。

**例** 次に、**show running-config enable** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config enable
enable password 2AfK9Kjr3BE2/J2r level 10 encrypted
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>disable</b>	特権 EXEC モードを終了します。
	<b>enable</b>	特権 EXEC モードを開始します。
	<b>enable password</b>	イネーブル パスワードを設定します。

# show running-config established

確立された接続に基づく、許可された着信接続を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config established** コマンドを使用します。

**show running-config [all] established**

<b>シンタックスの説明</b>	<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
------------------	------------	---

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更</b>
1.1(1)		このコマンドが追加されました。
3.1(1)		このコマンドは <b>show established</b> から変更されました。

**例** 次に、確立された接続に基づく着信接続を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config established
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>established</b>	確立された接続に基づくポートで、リターン接続を許可します。
	<b>clear configure established</b>	確立されたコマンドをすべて削除します。



# show running-config failover

コンフィギュレーション内の **failover** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config failover** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] failover
```

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての **failover** コマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config failover** コマンドは、実行コンフィギュレーション内の **failover** コマンドを表示します。**monitor-interface** または **join-failover-group** コマンドは表示しません。

## 例

次に、フェールオーバーが設定される前のデフォルト フェールオーバー設定を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all failover
no failover
failover lan unit secondary
failover polltime unit 15 holdtime 45
failover polltime interface 15
failover interface policy 1
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show failover</b>	フェールオーバーの状態および統計情報を表示します。

## show running-config filter

フィルタリング設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config filter** コマンドを使用します。

### show running-config filter

#### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

#### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

#### コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show filter</b> から変更されました。

#### 使用上のガイドライン

**show running-config filter** コマンドは、FWSM のフィルタリング設定を表示します。

#### 例

次に、**show running-config filter** コマンドの出力例、および FWSM のフィルタリング設定を示します。

```
hostname# show running-config filter
!
filter activex 80 10.86.194.170 255.255.255.255 10.1.1.0 255.255.255.224
!
```

この列では、アドレス 10.86.194.170 の port80 で ActiveX フィルタリングをイネーブルにしています。

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>filter activex</b>	FWSM を通過する HTTP トラフィックから ActiveX オブジェクトを削除します。
<b>filter ftp</b>	URL フィルタリング サーバでフィルタリングされる FTP (ファイル転送プロトコル) トラフィックを識別します。
<b>filter https</b>	Websense サーバでフィルタリングされる HTTPS トラフィックを識別します。
<b>filter java</b>	FWSM を通過する HTTP トラフィックから Java アプレットを削除します。
<b>filter url</b>	トラフィックを URL フィルタリング サーバに転送します。

# show running-config fragment

フラグメント データベースの現在の設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config fragment** コマンドを使用します。

```
show running-config fragment [interface]
```

## シンタックスの説明

*interface* (任意) FWSM のインターフェイスを指定します。

## デフォルト

インターフェイスを指定しない場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます

## コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show fragment</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config fragment</b> に変更されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config fragment** コマンドは、フラグメント データベースの現在の設定を表示します。インターフェイス名を指定した場合は、指定されたインターフェイス上のデータベースの情報のみが表示されます。インターフェイス名を指定しない場合は、すべてのインターフェイスにコマンドが適用されます。

**show running-config fragment** コマンドは、次の情報を表示する場合に使用します。

- **Size** — **size** キーワードで設定された最大パケット数。この値は、インターフェイスで許可されている最大フラグメント数です。
- **Chain** — **chain** キーワードで設定された単一パケットの最大フラグメント数。
- **Timeout** — **timeout** キーワードで設定された最大秒数。この値は、分割されたパケットすべてが着信するまで待機する最大秒数です。パケットの最初のフラグメントが着信すると、タイマーが起動します。指定秒数が経過してもパケットのフラグメントがすべて着信しない場合は、すでに着信したパケットのフラグメントがすべて廃棄されます。

**例** 次に、すべてのインターフェイス上のフラグメント データベースの状態を表示する例を示します。

```
hostname# show running-config fragment
fragment size 200 inside
fragment chain 24 inside
fragment timeout 5 inside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次に、名前が [outside] で開始するインターフェイス上のフラグメント データベースの状態を表示する例を示します。



(注)

この例では、インターフェイス [outside1]、[outside2]、および [outside3] が表示されます。

```
hostname# show running-config fragment outside
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
fragment size 200 outside2
fragment chain 24 outside2
fragment timeout 5 outside2
fragment size 200 outside3
fragment chain 24 outside3
fragment timeout 5 outside3
```

次に、インターフェイス [outside1] 上のフラグメント データベースの状態のみを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config fragment outside1
fragment size 200 outside1
fragment chain 24 outside1
fragment timeout 5 outside1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear configure fragment</i>	すべての IP フラグメント再構成設定をデフォルト値にリセットします。
<i>clear fragment</i>	IP フラグメント再構成モジュールの処理データを消去します。
<i>fragment</i>	パケット フラグメンテーションをさらに詳細に管理して、NFS との互換性を高めます。
<i>show fragment</i>	IP フラグメント再構成モジュールの処理データを表示します。

## show running-config ftp mode

FTP 用に設定されたクライアント モードを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ftp mode** コマンドを使用します。

### show running-config ftp mode

#### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

#### コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

#### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

#### 使用上のガイドライン

**show running-config ftp mode** コマンドは、FWSM が FTP サーバにアクセスするときに使用するクライアント モードを表示します。

#### 例

次に、**show running-config ftp-mode** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ftp-mode
!
ftp-mode passive
!
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy</b>	FTP (ファイル転送プロトコル) サーバとの間でイメージファイルまたはコンフィギュレーション ファイルをアップロードまたはダウンロードします。
<b>debug ftp client</b>	FTP クライアントのアクティビティに関する詳細情報を表示します。
<b>ftp mode passive</b>	FWSM が FTP サーバにアクセスするときに使用する FTP クライアントモードを設定します。

# show running-config ftp-map

設定された FTP (ファイル転送プロトコル) マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ftp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config ftp-map map_name
```

## シンタックスの説明

<i>map_name</i>	指定された FTP マップの設定を表示します。
-----------------	-------------------------

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config ftp-map** コマンドは、設定された FTP マップを表示します。

## 例

次に、**show running-config ftp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ftp-map ftp-policy
!
ftp-map ftp-policy
request-command deny put stou appe
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>class-map</b>	セキュリティ アクションを適用するトラフィック クラスを定義します。
<b>ftp-map</b>	FTP マップを定義し、FTP マップ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
<b>inspect ftp</b>	特定の FTP マップがアプリケーション検査で使用されるようにします。
<b>mask-syst-reply</b>	クライアントからの FTP サーバ応答を非表示にします。
<b>request-command deny</b>	禁止する FTP コマンドを指定します。

# show running-config global

コンフィギュレーション内の **global** コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config global** コマンドを使用します。

**show running-config global**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show global</b> から変更されました。

**例** 次に、**show running-config global** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config global
global (outsidel) 10 interface
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure global</b>	コンフィギュレーションから <b>global</b> コマンドを削除します。
<b>global</b>	グローバルアドレス プールからエントリを作成します。

## show running-config group-delimiter

トンネルのネゴシエーション中に受信されたユーザ名からグループ名を解析する場合に使用される現在のデリミタを表示するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **show running-config group-delimiter** コマンドを使用します。

**show running-config group-delimiter**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンド モード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

**コマンド履歴**

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、現在設定されているグループデリミタを表示する場合に使用します。

**例** 次に、**show running-config group-delimiter** コマンドおよびその出力を示します。

```
hostname(config)# show running-config group-delimiter
group-delimiter @
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>group-delimiter</b>	グループ名解析をイネーブルにし、トンネルのネゴシエーション中に受信されたユーザ名からグループ名を解析する場合に使用するデリミタを指定します。



# show running-config group-policy

特定のグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示するには、特権 EXEC モードで `show running-config group-policy` コマンドを使用します。

```
show running-config [all] group-policy [name]
```

シンタックスの説明	all	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
	name	グループ ポリシーの名前を指定します。

**デフォルト** このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

**コマンドモード** 次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更
	3.1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、デフォルト値を含む、グループ ポリシー FirstGroup の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
hostname# show running-config all group-policy FirstGroup
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>group-policy</code>	グループ ポリシーを作成、編集、または削除します。
	<code>group-policy attributes</code>	グループポリシー属性モードを開始し、指定されたグループ ポリシーの AVP を設定できるようにします。
	<code>clear config group-policy</code>	特定のグループ ポリシーまたはすべてのグループ ポリシーの設定を削除します。

# show running-config gtp-map

設定された GTP マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config gtp-map** コマンドを使用します。

```
show running-config gtp-map map_name
```

## シンタックスの説明

<i>map_name</i>	指定された GTP マップの設定を表示します。
-----------------	-------------------------

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config gtp-map** コマンドは、設定された GTP マップを表示します。

## 例

次に、**show running-config gtp-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config gtp-map gtp-policy
!
gtp-map gtp-policy
  request-queue 300
  message-length min 20 max 300
  drop message 20
  tunnel-limit 10000
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear service-policy inspect gtp</b>	グローバル GTP 統計情報を消去します。
<b>debug gtp</b>	GTP 検査の詳細情報を表示します。
<b>gtp-map</b>	GTP マップを定義し、GTP マップ コンフィギュレーションモードをイネーブルにします。
<b>inspect gtp</b>	特定の GTP マップがアプリケーション検査で使用されるようにします。
<b>show service-policy inspect gtp</b>	GTP 設定を表示します。

# show running-config http

現在設定されている http コマンドセットを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config http** コマンドを使用します。

```
show running-config http
```

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドのサポートが追加されました。

## 使用上のガイドライン

### 例

次に、**show running-config http** コマンドの使用方法を示す出力例を示します。

```
hostname# show running-config http
http server enabled
0.0.0.0 0.0.0.0 inside
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear http</b>	HTTP 設定を削除します。HTTP サーバをディセーブルにし、HTTP サーバにアクセスできるホストを削除します。
<b>http</b>	IP アドレスおよびサブネットマスクを使用して HTTP サーバにアクセスできるホストを指定します。また、ホストが HTTP サーバにアクセスできる FWSM インターフェイスを指定します。
<b>http authentication-certificate</b>	FWSM との HTTPS 接続を確立しているユーザからの証明書を介して、認証を要求します。
<b>http server enable</b>	HTTP サーバをイネーブルにします。

## show running-config http-map

設定された HTTP マップを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config http-map** コマンドを使用します。

```
show running-config http-map map_name
```

### シンタックスの説明

<i>map_name</i>	指定された HTTP マップの設定を表示します。
-----------------	--------------------------

### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

### コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

**show running-config http-map** コマンドは、設定された HTTP マップを表示します。

### 例

次に、**show running-config http-map** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config http-map http-policy
!
http-map http-policy
content-length min 100 max 2000 action reset log
content-type-verification match-req-rsp reset log
max-header-length request bytes 100 action log reset
max-uri-length 100 action reset log
!
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>class-map</b>	セキュリティアクションを適用するトラフィック クラスを定義します。
<b>debug http-map</b>	HTTP マップに関連付けられたトラフィックの詳細情報を表示します。
<b>http-map</b>	拡張 HTTP 検査を設定するために HTTP マップを定義します。
<b>inspect http</b>	特定の HTTP マップがアプリケーション検査で使用されるようにします。
<b>policy-map</b>	特定のセキュリティアクションにクラス マップを対応付けます。

# show running-config icmp

ICMP トラフィック用に設定されたアクセス ルールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config icmp** コマンドを使用します。

```
show running-config icmp map_name
```

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show running-config icmp** コマンドは ICMP トラフィック用に設定されたアクセス ルールを表示します。

## 例

次に、**show running-config icmp** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config icmp
!
icmp permit host 172.16.2.15 echo-reply outside
icmp permit 172.22.1.0 255.255.0.0 echo-reply outside
icmp permit any unreachable outside
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure icmp</b>	ICMP 設定を消去します。
<b>debug icmp</b>	ICMP のデバッグ情報表示をイネーブルにします。
<b>show icmp</b>	ICMP 設定を表示します。
<b>timeout icmp</b>	ICMP のアイドルタイムアウトを設定します。

# show running-config interface

実行コンフィギュレーション内のインターフェイス設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config interface** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] interface [ mapped_name | interface_name ]
```

## シンタックスの説明

<i>all</i>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべての <b>interface</b> コマンドを表示します。
<i>interface_name</i>	(任意) <b>nameif</b> コマンドで設定されたインターフェイス名を識別します。
<i>mapped_name</i>	(任意) マルチ コンテキスト モードの場合、 <b>allocate-interface</b> コマンドを使用して割り当てられたマッピング名を識別します。

## デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイスの設定が表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	•

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	<b>show interface</b> コマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドが <b>show running-config interface</b> に変更されました。

## 使用上のガイドライン

システム実行スペース内ではインターフェイス名を使用できません。**nameif** コマンドを使用できるのは、コンテキスト内のみです。同様に、**allocate-interface** コマンドを使用してマッピング名にインターフェイス ID をマッピングした場合、このマッピング名を使用できるのはコンテキスト内のみです。

## 例

次に、**show running-config interface** コマンドの出力例を示します。すべてのインターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。Vlan 35 および 37 のインターフェイスは未設定であり、デフォルト設定が表示されます。

```
hostname# show running-config interface
!
interface Vlan20
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
!
interface Vlan22
  shutdown
  nameif test
  security-level 0
  ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
interface Vlan35
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
interface Vlan37
  shutdown
  no nameif
  security-level 0
  no ip address
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>allocate-interface</b>	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
<b>clear configure interface</b>	インターフェイスの設定を消去します。
<b>interface</b>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>nameif</b>	インターフェイス名を設定します。
<b>show interface</b>	インターフェイスのランタイム ステータスおよび統計情報を表示します。

# show running-config interface bvi

実行コンフィギュレーション内のブリッジ仮想インターフェイスの設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config interface bvi** コマンドを使用します。

```
show running-config [all] interface bvi bridge_group_number
```

## シンタックスの説明

<b>all</b>	(任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、すべてのコマンドを表示します。
<b>bridge_group_number</b>	ブリッジグループ番号を 1 ~ 100 の整数で指定します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	—	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config interface bvi** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config interface bvi 1
interface BVI1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>bridge-group</b>	トランスペアレント ファイアウォール インターフェイスをブリッジグループにグループ化します。
<b>clear configure interface bvi</b>	ブリッジ仮想インターフェイスの設定を消去します。
<b>interface</b>	インターフェイスを設定します。
<b>interface bvi</b>	管理 IP アドレスを設定できるように、ブリッジグループについてインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>ip address</b>	ブリッジグループの管理 IP アドレスを設定します。



# show running-config ip address

実行コンフィギュレーション内の IP アドレス設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip address** コマンドを使用します。

```
show running-config ip address [mapped_name | interface_name]
```

## シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	(任意) <b>nameif</b> コマンドで設定されたインターフェイス名を識別します。
<i>mapped_name</i>	(任意) マルチ コンテキスト モードの場合、 <b>allocate-interface</b> コマンドを使用して割り当てられたマッピング名を識別します。

## デフォルト

インターフェイスを指定しない場合は、すべてのインターフェイスの IP アドレス設定が表示されます。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

マルチ コンテキスト モードでは、**allocate-interface** コマンドでインターフェイス ID をマッピングした場合に、コンテキスト内で指定できるのは、マッピング名またはインターフェイス名のみです。

トランスペアレント ファイアウォール モードの場合は、インターフェイスを指定しないでください。トランスペアレント ファイアウォールでは、インターフェイスに IP アドレスが対応付けられていません。

このコマンドを使用すると、**nameif** コマンドおよび **security-level** コマンドの設定も表示されます。

## 例

次に、**show running-config ip address** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip address
!
interface GigabitEthernet0
  nameif inside
  security-level 100
  ip address 10.86.194.60 255.255.254.0
!
interface GigabitEthernet1
  nameif test
  security-level 0
  ip address 10.10.4.200 255.255.0.0
!
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure interface</b>	インターフェイスの設定を消去します。
<b>interface</b>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
<b>ip address</b>	インターフェイスの IP アドレス、またはトランスペアレント ファイアウォールの管理 IP アドレスを設定します。
<b>nameif</b>	インターフェイス名を設定します。
<b>security-level</b>	インターフェイスのセキュリティ レベルを設定します。

# show running-config ip local pool

IP アドレス プールを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip local pool** コマンドを使用します。

```
show running-config ip local pool [poolname]
```

## シンタックスの説明

*poolname* (任意) IP アドレス プールの名前を指定します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	—	—
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

## コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドのサポートが追加されました。

## 例

次に、**show running-config ip local pool** コマンドの出力例を示します。

```
hostname(config)# show running-config ip local pool firstpool

Pool          Begin          End            Mask           Free           In use
firstpool    10.20.30.40   10.20.30.50   255.255.255.0 11
0
Available Addresses:
10.20.30.40
10.20.30.41
10.20.30.42
10.20.30.43
10.20.30.44
10.20.30.45
10.20.30.46
10.20.30.47
10.20.30.48
10.20.30.49
10.20.30.50

hostname(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure ip local pool</b>	IP ローカル プールをすべて削除します。
<b>ip local pool</b>	IP アドレス プールを設定します。

# show running-config ip verify reverse-path

実行コンフィギュレーション内の **ip verify reverse-path** 設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ip verify reverse-path** コマンドを使用します。

```
show running-config ip verify reverse-path [interface interface_name]
```

## シンタックスの説明

**interface interface\_name** (任意) 指定したインターフェイスの設定を表示します。

## デフォルト

このコマンドは、すべてのインターフェイスの設定を表示します。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペアレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

## コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。
3.1(1)	このコマンドは <b>show ip verify reverse-path</b> から変更されました。

## 例

次に、**show ip verify statistics** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ip verify reverse-path
ip verify reverse-path interface inside
ip verify reverse-path interface outside
ip verify reverse-path interface dmz
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure ip verify reverse-path</b>	<b>ip verify reverse-path</b> 設定を消去します。
<b>clear ip verify statistics</b>	ユニキャスト Reverse Path Forwarding (RPF) 統計情報を消去します。
<b>ip verify reverse-path</b>	IP スプーフィングを防止するためにユニキャスト RPF 機能をイネーブルにします。
<b>show ip verify statistics</b>	ユニキャスト RPF 統計情報を表示します。

# show running-config ipv6

実行コンフィギュレーション内の IPv6 コマンドを表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config ipv6** コマンドを使用します。

**show running-config [all] ipv6**

## シンタックスの説明

**all** (任意) デフォルトから変更していないコマンドを含めて、実行コンフィギュレーション内のすべての **ipv6** コマンドを表示します。

## デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

## コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

## コマンド履歴

**リリース**                      **変更**  
3.1(1)                              このコマンドが追加されました。

## 例

次に、**show running-config ipv6** コマンドの出力例を示します。

```
hostname# show running-config ipv6
ipv6 unicast-routing
ipv6 route vlan101 ::/0 fec0::65:0:0:a0a:6575
ipv6 access-list outside_inbound_ipv6 permit ip any any
ipv6 access-list vlan101_inbound_ipv6 permit ip any any
hostname#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug ipv6</b>	IPv6 デバッグ メッセージを表示します。
<b>show ipv6 access-list</b>	すべての IPv6 アクセス リストを表示します。
<b>show ipv6 interface</b>	IPv6 インターフェイスのステータスを表示します。
<b>show ipv6 route</b>	IPv6 ルーティング テーブルの内容を表示します。
<b>show ipv6 traffic</b>	IPv6 トラフィックの統計情報を表示します。

# show running-config isakmp

ISAKMP 設定全体を表示するには、特権 EXEC モードで **show running-config isakmp** コマンドを使用します。

## show running-config isakmp

### シンタックスの説明

このコマンドにはデフォルト動作またはデフォルト値はありません。

### デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	•	—

### コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

### 例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードでコマンドを入力し、ISAKMP 設定に関する情報を表示する例を示します。

```
hostname(config-if)# show running-config isakmp
isakmp enable inside
isakmp policy 1 authentication pre-share
isakmp policy 1 encryption 3des
isakmp policy 1 hash md5
isakmp policy 1 group 2
isakmp policy 1 lifetime 86400
hostname(config)#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear configure isakmp</b>	ISAKMP 設定をすべて消去します。
<b>clear configure isakmp policy</b>	ISAKMP ポリシー設定をすべて消去します。
<b>clear isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースを消去します。
<b>isakmp enable</b>	IPSec ピアが FWSM と通信するインターフェイス上で、ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
<b>show isakmp sa</b>	IKE ランタイム SA データベースおよび追加情報を表示します。